

# 一般財団法人京都ボーイスカウト振興会

令和6年度(令和6年4月1日から令和7年3月31日)

## 事業報告書

### 1. はじめに

令和6年度を振り返って、京都連盟はコミッショナー方針として「野外に出よう！仲間と語ろう！」の言葉を掲げ、青少年にとってスカウト活動は自然の中で行う愉快で楽しいゲームであることを説いてきました。指導者や役員は研修を重ね、さまざまな立場や役割を通じてスカウト運動への貢献に力を尽くしています。

少子高齢化の波は、家族の結束・地域力の衰退を招いているとの見方もありますが、スカウト活動は血縁・地縁を超えた「知縁」といえる家族・地域像が描けます。

団には兄弟姉妹、父母、おじおば、爺婆みんな揃っている大家族のような結びつきがあります。

「わが子のために」が「スカウトのために」と支え励ましあえる集団です。地区は、団の寄り合い隣組のようなもの。京都府には54こ団が京都連盟を構成し、地域ごとに6つの地区に分かれて運営しています。

47都道府県連盟が日本連盟に加盟し、世界の173の国と地域で5,300万人の仲間とともに世界スカウト機構を組織しています。ボーイスカウトは地域に根ざしながら世界中に共に活動する仲間がいるローカルにしてグローバルな社会教育運動です。

このような主旨をまとめたパンフレット『京都のボーイスカウトの振興のために維持会員としてご支援ください』を今年2月に完成させ、新規維持会員を募ることになりました。現在も、理事・評議員・監事がそれぞれの知り合いやスカウトOBを訪ねて、募集活動を展開しています。訪問先の方がさらに知り合いに声を掛けてくださるという例もあり、維持会員の新規加入の輪は広がりつつあります。

振興会維持会員のご篤志により様々な活動を支援することができました。厚くお礼申し上げます。当会計年度は、維持会費収入が2,240,200円となりました。

### 2. 事業報告の内容

#### (1) ボーイスカウト行事等に対する助成協力事業

##### (ア) 助成の対象

京都府下において、ボーイスカウト運動の趣旨を理解し、組織的にボーイスカウト運動を行う団体として、京都連盟を助成対象とした。

##### (イ) 助成の趣旨・使途

ボーイスカウト運動にかかる講習・実修・研修・キャンプに要する経費、スカウト派遣に要する経費、その他ボーイスカウト運動に欠くことができない重要な行事のために必要となる経費

(ウ) 事業実績

- 事業費として、助成金総額 1,300 千円を支出した。

京都連盟の進歩費、国際費、安全費、環境費、コミッショナー費、イベント費、ボーイスカウト講習会およびウッドバッジ研修所運営費等に必要となる事業費の一部に対して助成した。

(参考) ボーイスカウト講習会の実施状況

名 称	第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回	第 5 回	第 6 回
期 日	4 月 7 日	6 月 16 日	9 月 29 日	11 月 3 日	11 月 3 日	3 月 2 日
会 場	京都テルサ	宇治市 中央公民館	知恩院 和順会館	洛西 境谷会館	舞鶴市 城南会館	下鴨神社 公文所
参加者	定員に満た ず中止	12 人	定員に満た ず中止	18 人	9 人	18 人

(参考) ウッドバッジ研修所の実施状況

名 称	ウッドバッジ研修所 スカウトコース 京都第 7 期	課程別研修	
		CS 課程 京都第 6 回	BS 課程 京都第 4 回
期 間	5 月 3 日～6 日	7 月 7 日	10 月 20 日
会 場	静原キャンプ場	京都テルサ	京都テルサ
参加者	23 人	13 人	22 人

(2) 青少年の育成を目的とした自然体験活動のためのキャンプ企画事業

(ア) 体験活動の所在地

広河原野営場：京都市左京区広河原尾花町 27 番地

(当法人所有：山林 22,559 平方メートル、原野 521 平方メートル)

(イ) 体験活動の運営主体

日本ボーイスカウト京都連盟

(ウ) 体験活動に参加が予定されている対象者

青少年の育成を目的とした組織団体に無償提供する。

(エ) 体験活動に参加した対象者、使用月日、使用人数等

使用目的	使用月日	使用人数	使用者
1. 山開き	4 月 14 日	15 人	イベント委員会
2. 夏季整備作業	7 月 14 日	15 人	イベント委員会
3. 冬ごもり整備作業	11 月 24 日	15 人	イベント委員会
合 計	3 日	45 人	

(オ) 事業実績

- 広河原野営場建物の減価償却費 80,730 円が主な費用実績である。
- 広河原野営場近隣における舎営施設土地建物の取得または賃借について、利用状況がはかばかしくなく、当面見合わせる。

(3) 青少年指導者養成のためのプログラム企画運営事業

(ア) 趣旨

ボーイスカウトの指導者がテーマを設けて研修する催しに、青少年の育成を指導する人としての素養を涵養するために、企業人、教育者等の有識者を講師に迎え、オープンに一般の参加者も迎え、セミナー等を実施するものである。

(イ) 事業実績

京都連盟主催により各種セミナーが開催された。

- 指導者全体ワークショップ 2024 年 11 月 16 日-17 日 静原キャンプ場にて 71 名参加  
各種のスカウトスキルについて体験的に学び、スカウトのプログラムに活かす。
- 指導者セミナー 2024 年 10 月 26 日 京都テルサにて 45 名参加  
講師：村山大介氏（東京都立特別支援学校校長）  
スカウティングにおけるダイバーシティ、インクルージョン。配慮が必要なスカウトへの支援について学ぶ。
- 組織活性化戦略セミナー 2025 年 2 月 2 日 キャンパスプラザ京都にて 62 名参加  
講師：富永和也氏（日本連盟 AIS 委員）  
日本連盟が推進する AIS を理解して団の活性化につなげる。

(4) 国際交流・国際貢献活動、社会に役立つ事業活動、環境・まち美化活動支援のための共催事業

(ア) 国際交流・国際貢献活動支援

- ジャンボリー・オン・ジ・インターネット(JOTI)／ジャンボリー・オン・ジ・I7(JOTA)

世界スカウト機構が主催する公式国際行事で、10 月 19 日にインターネットやアマチュア無線を利用して、スカウト同士が国境を超えた情報交換と友好を深めた。

- 国際事業派遣報告会

(イ) 社会に役立つ事業活動支援

京都連盟は社会参加事業として、各種の奉仕活動に協力した。

- 全国防災キャラバン
- 皇后杯第 43 回全国女子駅伝競走大会
- 天皇杯第 36 回全国車いす駅伝競走大会
- 能登半島地震支援

(ウ) 環境まち美化活動支援

「緑の募金」、日本連盟主催「スカウトの日」、京都市「まち美化運動」に協力の一環として各団で実施している。

(5) ボーイスカウト運動の振興および普及宣伝事業

(ア) ワクワク自然体験あそび

日本連盟提供、文部科学省・京都府/京都市教育委員会後援事業「ボーイスカウトとあそぼうワクワク自然体験あそび」に各団・地区が独自のプログラムを企画し、40 会場で実施された。一般児童親子を受け入れ、さまざまな体験活動を提供した。

(イ) ホームページの充実により、組織内外のコミュニケーションを促進する。

- ① 一般の子どもや保護者が参加・見学可能な団主催「スカウト体験と説明会」の案内や活動の様子は、団のホームページや SNS が充実してきた。
- ② 京都連盟のホームページも、メンバー向けサイトとして組織内のコミュニケーションが充実し、キントーンを導入して個人情報等の安全管理にも努めている。さらに公式インスタグラムによって、いきいきしたスカウト活動の様子の公開を始めた。
- ③ 振興会のホームページは、事業報告・計画、組織についてのディスクローズに加えて、維持会員の交流、OB 復帰の受け皿としてのサポーター制度の充実等、上記①②との役割分担を図っていきたい。

(ウ) 事業費実績

主な事業費は、ホームページ運営改革費 1 3 2, 0 0 0 円を支出した。

(6) 財源の確保（維持(賛助)会費の入金状況）

巻頭で紹介したパンフレットの作成により、維持会員増加を目指すこととなった。

維持(賛助)会費の入金内訳

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
会費収入額	2,420 千円	2,310 千円	2,220 千円	2,220 千円	2,100 千円	2,240 千円